

# 中北.com

地域教育情報紙

中北教育事務所  
教育支援スタッフ

チウホクドットコム

TEL 0551-23-3046

FAX 0551-23-3013

1

中北の地域社会 (COM munity)の心の交流 (COM munication)をめざします

## 「教育は人なり」

中北教育事務所 所長 小林 茂晴

水田に映る風景が美しく輝き、自然の豊かさを実感する今日この頃となりました。皆様方におかれましては、日頃より中北教育事務所の各種業務にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

4月、進学や進級の喜びに目を輝かせ、希望に胸をふくらませる子どもたちを迎え、管内各小中学校でも順調なスタートが切られたところです。今年度より、コロナ禍の中で続いてきたマスク着用の学校生活もようやく終わり、学校に子どもたちや教師の豊かな表情と明るい笑顔が戻ります。一人一人の豊かな成長につながるよき一年となりますことをご祈念申し上げます。

令和4年度末人事異動により中北教育事務所では、7名が転出し、8名の転入がありました。新たなメンバーを迎え、教育支援スタッフ（地域教育・学校教育）、総務担当に、非常勤職員のスクールソーシャルワーカー、若手教員アドバンスティーチャーを含め、総勢26名体制で業務を進めます。

中北地区における教育行政の拠点として、また、山梨県教育委員会の出先機関として、管内各市町教育委員会や各小・中学校並びに関係諸機関との連携を図りつつ、職員一丸となって地域に開かれた教育行政の推進に努めてまいりたいと存じます。

さて、現在「チャットGPT」というAI（人工知能）を使ったチャットサービスが話題となり、様々な懸念が報道されています。AIの発達により人が勤める必要がなくなる仕事があることや、技術的特異点（AIが人間の知性を超え、また自分自身の知性を超えるようなAIを生み出すようになる時点）が2045年頃に訪れるなど、AIをはじめとしたデジタル技術が、私たちの生活に具体的な影響を及ぼすのは、まだまだ先のことだと考えていました。

思えば学校現場でも、GIGAスクール構想による1人1台端末の導入、ICT教育の推進にはじまり、デジタル技術を活用することで教育の手法や手段、教職員の業務などを変革させる「教育DX」という言葉をよく耳にする昨今です。

現在、学校教育では、デジタル化を進め、「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実を図ることが求められています。大きな変革が求められている学校や教師の仕事ではありますが、この仕事はAIがさらに発達しても人でなければ務まらない仕事とされています。このことを考えるといつも思い浮かぶ言葉があります。

### 「教育は人なり」

どんなに時代が変わり技術が発達しても、子どもを豊かに育て能力を引き出すことができるのは教師という人間にかかっているという意味があります。今、教師を志望する人が減少しています。新しい技術を研修し自己研鑽に努めながら、日々子どもたちに向き合う多くの先生方にエールを送るとともに、教師という創造的でやりがいのある仕事にさらに多くの人に挑戦していただくことを切に希望している毎日です。

結びに、中北教育事務所としましても、山梨の未来を担う子供たちの笑顔と豊かな学びを保障するために、スタッフ一同全力で職務に邁進する所存です。今後とも変わらぬ御理解と御協力をお願いいたします。



3月8日(水)、甲府商業高校(三枝正人校長)で1・2年生を対象にした講演会が開催されました。

これまで、感染症対策で代表生徒たちと放送室からのハイブリッド講演会だったとのこと、体育館に生徒と教職員あわせて約600名が集まり、対面しての講演会は本当に久しぶりだったそうです。

「山梨発見講演会」と題した今回の講師は、北杜市にある、ひまわり市場の社長那波秀和さん。きっかけは、校長先生をはじめ、教頭先生方、そして上田迅先生が見た経済番組。「ぜひ、生徒にも。」と、上田先生を中心に企画しました。



一言一言かみしめるように話す那波社長。

決して順調ではない過去と厳しい世界に身を置く企業の事業活動の今。そしてスタッフとして働く甲商OBの活躍。那波社長の名調子に、生徒は徐々に那波社長の世界に吸い込まれていきました。

〈生徒のみなさんの感想から〉

- 商品置いてあるだけでは売れない。商品の魅力を伝える最大の努力をしているのがすごい。
- 社長のマイクパフォーマンスを実際に聞き、「食べたい!」と思うくらい思いが伝わる放送だった。
- 従業員の笑顔、人と人とのつながり、お客様が店に来てもらうためにはたくさんの努力と工夫が大切だと感じた。
- 何事も必死ですることは、いずれ結果につながることをわかった。
- 将来働くにあたって、どういう点に点に注目して会社を選ぶべきか考えた。
- 高校卒業後は進学して経営について学びたいと考えていたので勉強になった。



講演途中の休憩時間のこと。那波社長と三枝校長先生が話しているところへ歩み寄る生徒たちがいました。商売を極めるという同じ舞台上で、社長に直接話しかけ思いを伝えたかったとのこと。那波社長も満面の笑顔でした。

授業で得た知識が、那波社長の生の商いの話とつながった時間。この秋の「甲商デパート」では、今日の学びを生かした内容になることでしょう。

地域社会で即戦力として活躍できるよう学びを深めた講演会でした。

※なお、10月に行われる中北地区地域教育フォーラムでは那波社長の講演会を予定しています。

## 本格的にwithコロナが始まります

厚生労働省資料により作成

ここ数年、生活に大きく影響してきた新型コロナウイルス感染症の政策が、令和5年5月8日から大きく変更されました。多くの所で周知されていることですが、改めてまとめてみます。重要な点は、**政府主導の対策・制限がら、個人が尊重され自主的な取組が基本となったこと**にあります。

①インフルエンザと扱いが同等に(具体的には「5類感染症」になりました)

- ・外出制限の目安が**発症後5日間**の推奨となり、濃厚接触者もなくなります。
- ・入院措置や勧告、外出自粛要請もなくなり、医療費も基本自己負担に

②マスクの着用など基本的な感染症対策は個人や事業主の判断に

政府も完全に安全になったとは捉えてはなく、ワクチン摂取など公費支援の一部は期限付きを含め残ります。また、コロナウイルスがなくなったわけではなく、クラスターも発生するでしょう。我々は今まで以上に強い自己責任が問われているのです。

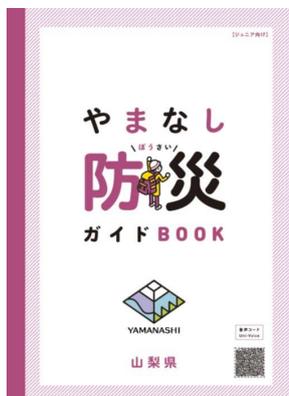


# 日常の防災意識が大切

山梨県防災局防災危機管理課

「小中学生向け ”やまなし防災ガイドブック”」

学校などでこの冊子を見たことがあるでしょうか？ 山梨防災ガイドブックを紹介します。



「子どもの頃から防災に関心を持ち、日頃から家族や学校の人と一緒に災害に備えていただくことを目的に小中学生を対象とした防災ガイドブックを作成しました。県内の起こりえる災害の特徴やその備えについて、分かりやすいイラストで掲載しています。県ホームページにPDF版のガイドブックを公開していますので、右のQRコードよりダウンロードいただけます。」



これは担当者さんからのメッセージです。身近に起こりうるさまざまな災害を多くのイラストを交え紹介され、親しみやすく学べますが、内容はかなり濃いものとなっています。

「正常性バイアス」という言葉を知っていますか？ 様々な判断やストレスに過度に反応しないよう、心を守る機能のことです。この機能が逆に作用し、災害から逃げ遅れることもあるようです。「自分は大丈夫」とか「このくらいなら大丈夫」と思ってしまうのです。そこで、普段からの備えが重要となります。

今回の紹介が、家族で、災害に遭ったときにどうするのか再確認するきっかけとなることを願います。

# 生涯続く学びのひととき

山梨ことぶき勸学院 開講式

4月18日、YCC県民文化ホール小ホールにおいて山梨ことぶき勸学院3年ぶりとなる入学式、始業式、記念講演が行われ、1・2年生が参加しました。



その後、中北教室の新2年生の開講式が4月21日に行われました。今年度の学びのスタートを、決意を新たに臨む姿が感じられました。仲間との久しぶりの再会に、教室のあちこちで笑顔があふれていました。

新入生31人を迎えての開校式は4月25日に行われました。再度の入学の方も多いのですが、中北教室には、半数近くの方が今回初めて、高い向上心を持ち新たな学びを求めて参加されています。その中にはご夫婦で入学した方もいらっしゃいます。



「今回、ことぶき勸学院に初めて参加しました。山梨の自然が気に入って、移住を決めました。いま家の庭で笹や雑草と闘いつつも、自然に生えてくる様々な野草をいただいています。本当に自然の持つ大きな力と、人はそれによって生かされていると感じる日々です。（愛彦さんはドイツ語のエキスパートで無料のドイツ語教室も開催）」（渡辺愛彦さん・ひろみさん）

昭和62年の開校から、令和の時代に続く歴史ある学びの場。県内外から講師の方をお招きしての年間25回の必修講座は、地域を知り、知識を深め、感性を高める魅力的なものばかりです。コロナウイルスの影響も全くなかったわけではありませんが、講義はほぼコロナ前に戻しております。県内各教室では、引き続き感染防止対策を徹底して行い、安全・安心な学びの場となるよう対応していきます。

# 令和5年度 中北教育事務所 地域教育連携事業について

## ●『中北地区地域教育推進連絡協議会』および『地域教育フォーラム』の開催

### 1 第1回中北地区地域教育推進連絡協議会

日時 令和5年6月22日(木) 14:10~16:30

場所 甲斐市敷島総合文化会館大ホール

協議会 ※役員と事業計画の確認は、5月中に紙上提案の形で行う。

研修会 演題「学校教育に期待すること」(仮)

山梨予備校校長 前山梨県教育委員会教育長 齊木 邦彦 氏

### 2 中北地区地域教育フォーラム(中北DREAM)

日時 令和5年10月19日(木) 13:30~16:30

場所 甲斐市双葉ふれあい文化館ホール

地域の文化発表 中北地域の高校生の文化発表(約20分)

Think Cosmically Act Locally

講演1 演題「空を見上げ 夢を語ろう」(仮)(約60分)

講師 JAXA宇宙教育指導者 元国立天文台研究職員 宮川 広 氏

講演2 演題「人と夢を売ろう」(仮)(約60分)

講師 株式会社ひまわり市場代表取締役 那波 秀和 氏

### 3 第2回中北地区地域教育推進連絡協議会

日時 令和6年1月25日(木) 14:10~16:30

場所 甲斐市敷島総合文化会館大ホール(会場の都合で変更の場合あり)

協議会 地域団体の活動実践発表(1~2団体、計30分程度)

研修会(人権教育研修の内容を含む。約80分)

演題「こどものミカタ ~不登校・ひきこもりを題材に~」(仮)

講師 峡東保健福祉事務所 地域教育支援スタッフ 芦沢 茂喜 氏

◆「中北地区 子育て相談窓口・教育相談窓口」冊子を、保育所・幼稚園、小中高及び特別支援の各学校、市町の子育て担当各所に配付しています。当教育事務所のホームページでもご覧いただけます。

◆「中北地区異校種間授業参観『公開できる授業等一覧』」を6月配付予定です。

紙面を飾ってみませんか。

地域教育情報紙『中北.com』は、年6回、奇数月に発行し、中北地区500か所以上に配付しています。学校や地域、諸団体での様々な取り組みを、ぜひ取材させてください。問い合わせ先は下記まで、お気軽にお声がけください。

令和5年度 『中北.com』No.1

編集・発行 中北教育事務所 担当：内藤 賢・市川 哲也

〒407-0024 韮崎市本町4-2-4

電話 0551-23-3046 FAX 0551-23-3013

